

# 社会資本総合整備計画

## 中山道赤坂宿周辺地区都市再生整備計画

平成 27 年 12 月 4 日

岐阜県大垣市

# 都市再生整備計画(第2回変更)

なかせんだうあかさかじゆくしゅうへん  
中山道赤坂宿周辺地区

岐阜県 おおがき  
大垣市

平成27年12月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	おおがき 大垣市	地区名	なかせんどうあかきかじゆまへん 中山道赤坂宿周辺地区	面積	556 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度				

<b>目標</b> <b>大目標：自然や歴史、文化などを生かした宿場町周辺の憩いと賑わいの創出</b> 目標1：歴史的資源等を活用した交流と憩いの場づくり 目標2：特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進
---

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、江戸時代には中山道57番目の宿場町「赤坂宿」として賑わい、近年までその風情を残していたが、家屋の建替えやモータリゼーションの進行等による道路整備などが進み、それが失われつつある。</li> <li>・後世に赤坂宿の雰囲気を残していくため、地域住民が連携し、赤坂地区のまちづくりを推進していくことを目的として、平成14年に「中山道赤坂宿まちづくりの会」が組織された。</li> <li>・市としても、この会を都市景観形成市民団体の第1号に認定し、助成金の交付や情報提供等を行って支援してきた。</li> <li>・その結果、皇女和宮の降嫁にちなんで「お嫁入り普請探訪館」の開館や「中山道赤坂宿まつり」の運営、講演会・勉強会の開催、先進地視察などに取り組んできた。</li> <li>・その他にも、この地区は原始・古代の遺跡が集中するとともに、大型古墳や寺院などの歴史的・文化的遺産が数多く集積している。</li> <li>・特徴的なものがありながら、地域の人たちにも来訪者にもあまり知られていない。</li> <li>・まちなみ保全等のため、赤坂市街地内に安易に排水路の設置等ができず、抜本的な対策が必要であるため、平成12年度、14年度と調査を進めてきた。</li> <li>・当地区内の屋敷南部未利用地は、当初、区画整理事業として一体的な整備を図る方針であったが、地区計画事業としての道路整備を行うこととなった。</li> <li>・平成18年度～平成22年度にかけ、安全・安心な暮らしや観光客の増加を目指して「大垣市中山道赤坂宿周辺地区都市再生整備計画」を策定し、まちづくり交付金を活用し、総合的なまちづくりに取り組んだ。しかし、観光客は赤坂の点在する歴史的資源を訪れるが、回遊性を高める整備がまだ不足している。</li> <li>・また、多数のまちづくりに関する団体が活動する地域であるが、その団体同士が赤坂のまちづくりを考えるような交流が図られていない。</li> <li>・地域住民が郷土に誇りをもちながら、地域活動する場や、観光客をおもてなしする場が不足しているため、まだまだ郷土愛の醸成が図られていない。</li> </ul>
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的資源を保存・活用することで、地域住民の郷土愛を醸成するとともに、地域住民同士の交流や、来訪者との交流の場とするための整備が必要である。</li> <li>・歴史的景観を生かした独自性のあるまちなみ形成をすることで、地域住民の憩いや交流の場となる公園、広場等の整備が必要である。</li> <li>・それらを地域住民と共に観光資源として効果的に連携させ、来訪者が回遊できるように、案内板や道路等の整備が必要である。</li> </ul>
<b>将来ビジョン(中長期)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大垣市第五次総合計画の中で、「自然や歴史、文化などの地域資源を生かし美しく魅力ある景観を形成するため、市民と行政が一体となって、景観形成の推進や特色ある景観の保全・活用に努めます」と定め、さらに、「古くから郷土に受け継がれている文化財や伝統芸能に対する意識を深め、大切に保存・育成し、後世に伝承するため、文化財の保存と活用、伝統文化の継承や文化的景観の保全、文化財愛護意識の高揚に努めます。」と明記されており、本計画の対象地域である赤坂地区は、この計画に基づいて実施するもの。</li> </ul>

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
交流センターの利用客数	人／年	中山道赤坂宿周辺地区の交流センターの利用客数	特徴的な歴史資源の活用により、観光客や市民との交流や憩いの場を創出する。	0	平成25年度	1,000 平成29年度	
中山道赤坂宿周辺来訪者数	人／年	中山道赤坂宿周辺地区の年間の来訪者数	特徴的な歴史資源の活用により、観光客や当地区を訪れる市民を増やし、従前値の1.04倍程度の来訪者数を目指す。	97,575	平成24年度	100,000 平成29年度	
中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度	%	中山道赤坂宿周辺地区の来訪者等アンケートの満足度	中山道赤坂宿周辺地区の来訪者等にアンケートを実施し、満足度71%を目指す。	59	平成25年度	71 平成29年度	

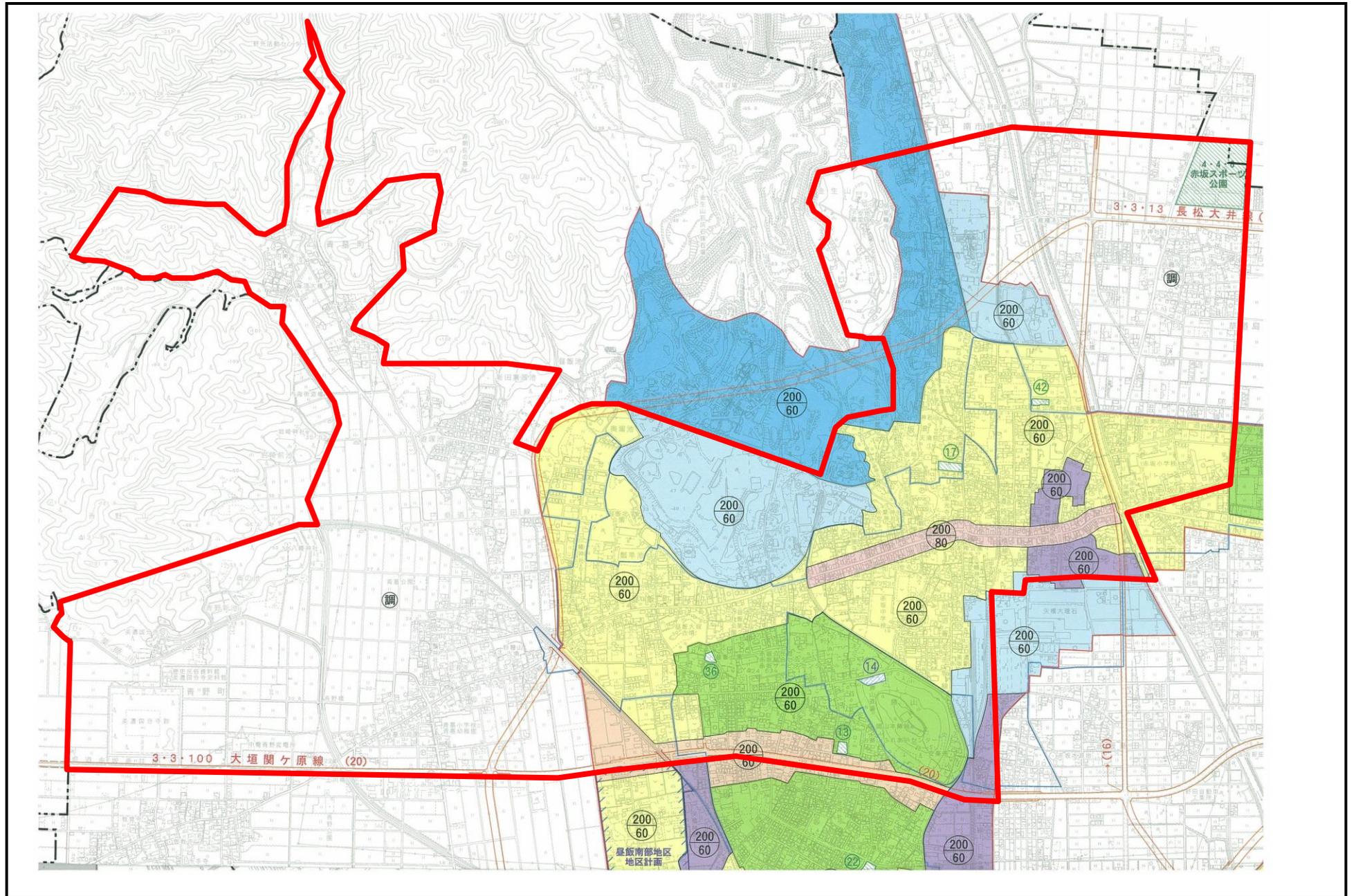
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(歴史的資源等を活用した交流と憩いの場づくり) 歴史的価値のある旧清水家住宅を地域交流センターとして整備、昼飯公園、赤坂スポーツ公園を整備することで、住民や来訪者の交流と憩いの場となる。</p>	<p>■基幹事業 ・公園:昼飯公園 ・公園:赤坂スポーツ公園 ・既存建造物活用事業(観光交流センター):旧清水家住宅整備</p>
<p>整備方針2(特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進) ・中山道赤坂宿周辺の市道屋飯45号線、金生山道路整備、文化財看板設置事業、中山道案内看板整備、歴史民俗資料館公衆便所整備をすることにより一層の観光客の誘客を図る。</p>	<p>■基幹事業 ・道路:市道屋飯45号線 ・地域生活基盤施設:文化財看板設置事業 ・地域生活基盤施設:中山道案内看板整備 ・高質空間形成施設:歴史民俗資料館公衆便所整備、金生山道路整備、化石館周辺環境整備</p>
<p>その他</p> <p>○市民参画による都市再生整備計画の策定 平成25年度に、市民参画によるワークショップ等を開催し、中山道赤坂宿周辺地区の課題について議論され、その結果を参考に、今回の都市再生整備計画を策定。</p> <p>○継続的なまちづくり まちづくりに対するアンケート調査等を実施し、調査結果を今後の事業展開に反映する。</p> <p>○市民への情報提供 交付期間中の事業計画、事業の進捗状況等については、ホームページ等で情報公開し、市民の協力と参加を促す。</p>	



都市再生整備計画の区域

<p>中山道赤坂宿周辺地区(岐阜県大垣市)</p>	<p>面積 556 ha</p>	<p>区域 大垣市青墓町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、5丁目、青野町、牧野町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、赤坂町、赤坂東町、昼飯町、南市橋町、草道島町、赤坂新町1丁目、2丁目</p>
---------------------------	------------------	---



## 中山道赤坂宿周辺地区(岐阜県大垣市) 整備方針概要図

目標	大目標: 自然や歴史、文化などを生かした宿場町周辺の憩いと賑わいの創出	代表的な指標	交流センターの利用客数 (人/日)	0	( 25年度)	→	1,000	( 29年度)
	目標1: 歴史的資源を活用した交流と憩いの場づくり		中山道赤坂宿周辺来訪者数 (人/日)	97,575	( 25年度)	→	100,000	( 29年度)
	目標2: 特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進		中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度 (%)	59	( 25年度)	→	71	( 29年度)

